

飯山市総合計画等評価検証委員会 会議概要

1 会議名	令和7年度(2025年度)第2回 飯山市総合計画等評価検証委員会
2 日時	令和7年11月28日(金)14時30分～16時53分
3 会場	飯山市役所 4階 第4委員会室
4 委員出席者 (順不同)	本間委員、小嶋委員、阿部委員、上村委員、庚委員、西川委員、常田委員、岡村委員 ※欠席:片山委員、大口委員
5 報道機関	北信ローカル、i ネット飯山
6 市出席者	市長、総務部長、企画財政課長、企画調整係長、企画調整係主査
会議事項等	
1 開会	(進行:企画財政課長) ただいまより第2回飯山市総合計画等評価検証委員会を開催させていただく。前回の会議では飯山市第6次総合計画全般のご説明と人口減少とテーマに意見交換を行った。貴重な意見をありがとうございました。今回は、第6次総合計画の進捗状況の評価検証を行っていただくのが主な目的です。前回同様、会議概要を作成してホームページ等で公開させていただく。今回は片山委員と大口委員の2名が欠席です。
2 あいさつ(市長)	市長あいさつ
3 委員長および副委員長の互選	会議の設置要領では委員の皆様から互選いただくことになっている。何かご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。事務局の案としまして、委員長は本間委員さんに、副委員長には西川委員にお願いしたいがよろしいでしょうか。それでは本間委員は席の移動をお願いします。西川委員はその場でお願いします。
4 協議事項(委員長)	(1)飯山市第6次総合計画前期基本計画の進捗状況について 資料1～3について基本目標ごとに事務局から説明し、その都度意見交換。 ◎基本目標1「美しい自然環境を守り、クリエイトするまち」について意見交換 (委員) 3Pの起業支援件数については、言える範囲でどのようなお店が対象になっていますか。 (企画財政課長) 起業支援件数は比較的小さな事業者さんが多く、具体的な職種で言うとITとか飲食です。駅前の飲食店さんとか開業する時に補助金が出ています。 (委員) 知らないだけで意外とあったんだなというイメージ。 (事務局) 飯山市のホームページに載っていますが、令和5年度だと民宿坂口さん、かがやき接骨院さん、あらいりょうりてんさん、令和6年度だとドッグサロンぼるむさんといったところが実績です。 (委員) 7Pの空き家対策は力をいれていただいて効果がでてきていると思う。司法書士の方と相続の話をすることがあるが、空き家バンク等飯山市の空き家対策について評価する声を聞く。このまま積極的にやっていただければ良いと思う。4Pの地域おこし協力隊について、すごく魅力

的な方がたくさんいらっしゃるが、どんな方がいてどんなことをしているのかがなかなか認知されてなかったり、生活の中で変化が見えてきていない。今後さらに増やすとのことで、協力隊や市民の方へのフォローとか、飯山にどのような影響があるのか見えるといいのかなと思う。卒隊された方の起業とかフォローがないと、任期が終了して帰ってしまっただけでは意味がないので、定住してもらうために、協力隊へのアフターフォローや導線を見えるようにしていただければ良いのかなと思う。9P ゼロカーボンのところは2年遅れで数字が出てくるとのことで具体的な数字が載っていないが、今後どうしていくのかこの表では見えづらいのでご説明いただけるとありがたいと思う。

(委員)

県外から講師の先生たちが飯山に来てくれたが市内に泊まるところがない。少し北に行けば素敵な民宿がいっぱいあるが、そこまで行くのに交通の便が悪い。結局なくて長野まで戻って泊った。せっかく来てくれたのに、飯山にお金が落ちなくて非常にもったいないなと感じた。市街地に泊まれる場所がないことはないとは知っているが、新しいものとか、整備された施設があると良いなと感じた。また、スポーツについて、一市民としての感覚で、飯山駅で降りて野沢温泉ライナーで野沢に行ってしまうと、飯山が置き去りにされているような感覚があって、本当に飯山にお客さんが来ているのか実感がない。クロスカンリースキーも長峰に良いコースがあるのでいろんな人に体験してもらって、スキーって楽しいという事が伝わって観光資源になれば良い。木島平のコースはお金を取っているの、長峰もお金を取って運営してもいいと思う。健康にもいいし、用具の貸し出しもして多くの人に体験してもらいたい。また、体育の授業でクロスをするが、スキーを買わなくてはいけないので親の負担がとても大きい。そこで親のスキーへのハードルがあがってしまう。小学校の体育は、購入じゃなくて学校でレンタルしてもらえればスキーへの裾野が広がると思う。

(委員長)

いろいろご意見が出ましたが、ひとつひとつお答えしていると大変かと思いますが、どうですか。

(企画財政課長)

空き家対策については、飯山市は早い取組をしている。現在壊れそうな危険空き家が20～30程あるが、所有者が不明だったり、わかって連絡が取れない、相続放棄をされているという現状で対応に時間がかかる。行政代執行した物件については、お金は回収できないかもしれないが、これをやらないと皆さんご存じのあの状態がずっと続く、イメージが悪いという現状であった。今後の方針にもあるが、弁護士さんなどを仲介しながら対応していきたい。地域おこしの関係については、区の集落懇談会でも言われたが、何人もいるが何をしているか伝わっていない状態。市では伝えているつもりでいるが、つもりであって実際は伝わっていないという反省をした。担当課で承知しているので改善します。ゼロカーボンについては、太陽光や水力発電とか、大きい施設をどうするということよりも、身近なところで省エネ基準に達した家電の購入やLED化への補助を行っている。予算にすると今年度で2,000万を越して多くの皆さんに活用していただいている。ホテルについては課題です。古いものが良いという人もいるがビジネス的に泊まれる場所が不足している。スキーについて、昔は学校にスキーがあったが、なかなか更新ができなくて今は親の負担になっている現状。そういう声もいただいているので参考にさせていただく。長峰については、料金徴収しようと検討した経過はある。色々な問題で結論が出ない。飯山はスキーというイメージは失われてはいけない。市としても進めていくところである。

(総務部長)

宿泊施設はある。少ないと言っているが町内の宿泊施設がいっぱいかというところではない。ニーズによって施設が決まってくる。駅前にホテルをと公約にした市長がいて、誘致をしていたが、当時の話ですが聞くとことによると飯山駅は採算が取れないと。一定程度話が来ても途中で物別れになってしまうという状況。駅前や市内の観光振興を進めていけば、おのずと宿泊施設が来てくれるのかなと感じる。私が泊るところがないと聞くのは、仕事で来ている人。結局長野で泊ってしまう。宿泊施設については市の課題である。スキーについては、皆さんスキーがあつての飯山という認識されていると思う。スキー振興のため何をしなければというところで、皆さん色々ところで飛んじやって効率的じゃないのかなと個人的には思う。スキー飯山を全国的に認知してもらうためにどうすればいいかと考えたとき、同じ方向性を見ていければいいと思う。ジャンプ台の改修の関係でもそれぞれの意見があつてまとまらないということもあ

るので、行政がしっかりと良い方向性を出していかないといけないと思う。

(委員長)

色々お話がでたが、20P のイベント等でのプロモーションの実施数の今後の方針の所で、参加者が多いコンテンツは何なのかを分析すると、宿泊者のニーズ、傾向が見えてくる。長野市も宿泊者が多くて料金も高騰している。そこからお客さんを奪える可能性もあるので、周辺の動向やどういった方が来てるのか、どういったニーズなのか、ホテルの機能だけで良いのか等考えていただくとホテル作りの方向性が見えてくると思う。自転車関係で来る人は自転車が安全に管理できるのかとか、文化関係なら図書館を併設するとかニーズを見てもらえれば。空き家に関しては、大分の空き家が多い地域での火事があった。飯山市では先進的な取り組みをされていてこれからどんどん良くなっていくと思うが、災害はいつ起こるかわからないので、危険空き家に対して災害に対し危険な場所がないか重点的に見ていただいて対応していただくと安心できる。

基本目標1については以上でよろしいですか。つづいて基本目標2について説明をお願いします。

※事務局説明

◎基本目標2について意見交換

(委員)

39P の子どもの医療費無償化や給食費半額とか、素晴らしいことだと思うのでもっと評価されてもいいのかなと思う。相談窓口も増えて子育てしやすい環境が整ってきたのではと思う。47P のふるさと教育のところで、指標にするには少し弱いのかなと思う。他にやっている事業もあるのでは。学校主体でやることも多いと思うが市と学校と連携して子どもたちが勉強できれば。

(委員)

いろいろ市でやっていることを知らないママたちが多い。せっかくあるのに有効利用されていない感じがある。こども女性家庭センターが新しくできたが、そこで何をしているのわからない。そこへどれだけの方が相談に行き、どれだけ解決したのか、この指標ではよく分からない。きららの開館とか良くなっていると感じる部分はあるので、ニーズに合っているのか分かる指標が良い。マタニティータクシーを利用申請していた人が、陣痛が来たのが夜中でタクシーを利用できなかった。緊急時に利用しようと思っていたのが使えないというのはとても問題だと思う。タクシー会社の関係もあると思うが、24 時間使えるようにしてほしい。

(企画財政課長)

伝えてはいるが、伝え方をどうしたら良いかが課題。いいアイデアがあればご意見をお願いしたい。指標の伝え方については、もう少しわかりやすい、相談件数などの具体的な数字を意識して加えていきたい。マタニティータクシーについては、申請の書類を見ていて、同じ疑問を持った。タクシーの運行時間もあり、事業としてやっていくなれば夜中まで責任を持たないといけないが、ここからここまでは家族でやってただけなのか、と思うところもある。

(委員長)

どう伝えるとターゲットの人に届くのか、全体にではなく、関係する範囲にはこれが効果的というものがあれば教えてもらいたい。新卒の JR 事業もポスティングしていると聞いたが、新卒の人はポスティングされたチラシを見るのかなど。

(総務部長)

子育てしている人には、妊娠届、乳幼児健診等で対面していて、保育園の先生も保護者と毎日会っていて、市の職員が利用者と直接会って情報を届けられる状況にありながら情報を届けていない、ということは問題がある。

(委員)

手元に届いているものはたくさんあるが、見ていない。「みんなで子育て」も改善されて見たいと思うようになった。今の時代のママたちはスマホかなと思う。LINE で長文の相談が来る。子育て世代は電話での相談はハードルが高い。また、冬場、雪が降ると遊びに行くところがないという声をよく聞く。きららの解放もあるが、きららだけじゃ苦しい。気軽に子どもを連れて遊びに行けるところがない。

(委員)

今の子は遊び方を知らない。時代の流れで仕方がないが、遊びを教えてくれる大人、団体があれば良いのではないかなと。公民館でも囲碁など教えていたり。

(委員)

中野の廃校を利用したハブリックのようなものが飯山にもほしい。冬の間、雪遊びだけだと飽きちゃうので、室内で遊ぶ場があれば良い。

(委員)

ハブリックは雨の日の週末とかはすごく混んでいて飯山からもたくさんの人たちが行っている。飯山にもあれば良い。

(委員)

廃校利用については基本目標1にもあったが、アスベストの検査や不動産評価をしたと書いてあったが、活用できる廃校は何校あるのですか。

(総務部長)

廃校活用できるのが5つ。旧城南中については、公募して後利用について審査をしているところ。駅に近い位置関係から、新幹線駅や周辺と絡めたというイメージがある。4小学校については地域の方にこれから話をお伺いする中で、総合計画に基づいて活用していくことになるが、総合計画が幅広くて分かりにくいので、小学校ごとに地域の方にイメージしていただけるようなデザインを市で示せればよいかなと思う。一方で、できるだけ早く後利用を決めたいとも思っている。スムーズに進めていきたい。まだ何にするか決まっていないので、今回の会議で出た意見は、後利用を考える中で一つのアイディアとして受け止めさせていただく。

(委員)

今、一部倉庫として貸出あり、という記載があって、これで満足してしまったのではと感じたが、そうではないということで良いか。

(総務部長)

これは、地域の方が一時的に困っているという事で、短期間一つの教室を荷物置き場として貸している程度です。

(委員)

耐震に関してはどうですか。

(総務部長)

旧城南中はほとんどの校舎で耐震はない。他の4小学校は耐震もアスベストも大丈夫です。

(委員)

ハブリックは廃校になってから2～3年でできて、フリースクールも入っていて、入館料も無料でスピード感もすごいし、いろいろな人が利用しやすい。不登校児の対応や障害の方の居場所としての活用も、廃校利用でスピード感をもってやってほしい。

(委員)

廃校利用については検討中だと思うが、冬遊ぶ場所がないという話から、可能かどうか分からないが、利用可能な廃校の1部だけでも、体育館だけとか教室二つだけとか解放して、この冬できるかどうかはわからないが、子どもたちが遊べる施設として利用できるようにするのもありなのかなと。ずっと人が使わないと痛んでしまうので、電気代やトイレや掃除等の問題もあると思うが、一部開放もありなのではと思う。人が集まるという事が外に見えてくるので、関わろうかなとか、提案とか入札に入ってくれるところも出てくるかもしれないので、子どもだけでなく広い世代で使えるように考えてもらえれば。

(委員)

学校教育で飯山の特色を出すというところで、決められたやらなきゃいけないところもあると思うが、こんな教育ができるとなれば、都会から仕事をも持ったまま住むのは飯山とかできるんじゃないかと。コミュニケーションがとれる英語教育とか、受験コースとか他でやっていないことを飯山市でやったら移住者が来るんじゃないか。教育でできることがあるのではないかなと思う。

(委員長)

学習指導要領があるので、公立学校が新しいカリキュラムを組むのが難しい状態ではある。福島県に第一原発の周辺で1度地域住民が避難して、また戻られて新しくまちづくりをしている地域がある。小中学校を「義務教育学校」として設置して、新しくカリキュラムを組んで、コミュニケーションに重きを置いたり、子どもたちが自分で授業を組んでなど、ゼロスタートだからできたという部分もあるが、事例としてはあるので。先生にお任せするのは難しいので、地域の人に関わっていくと、変わったことができるのではないかなと思う。基本目標2について区切らせてい

ただいて、基本目標3についてお願いします。

※事務局から説明

◎基本目標3について意見交換

(委員)

地域おこし協力隊にも新規就農者がいて、新しい方は新しい野菜を作っている。それを学校給食に繋いでほしい。飯綱では、学校給食でこの時にこれが必要っていうのを農家さんと繋いで、農家も今ならこれがあるよっていうのを繋いでいる地域おこし協力隊がいらっしゃる。こういうのを飯山市でもやってもらえれば。新規就農者や有機栽培を若い頑張っている農家がいるので飯山市の給食で使ってもらえれば。

(委員)

地域おこし協力隊で農業研修やっている人が農業研修のPRをしてもらえれば。この時期はこんなことをやっているとかをインスタ等で発信してもらえれば。

(企画財政課長)

今お話しいただいたことはいいアイデアだと思う。前回は泉台小の活用の話もあったが。

(委員)

泉台小については今管理している人がいらっしゃるが、もう少し管理してほしいなど、土手になって下に川があって子どもたちも遊んでいて危ないので。柿の木もあるので、後管理もやってもらえれば。

(総務部長)

今1人の人に管理をやってもらっているが、手が足りていないので次年度はお願いするなり、手を増やして後利用までの管理をしていく。

(委員)

統合した城北小では畑がないのか、今年は学校で畑ができなくて残念。放課後アフタースクールはとてありがたい取組だと思う。いつまで続けていってくれるのか、講師もボランティアだと思うので。地域おこし協力隊の特技も子どもたちに教えていただけるとありがたい。

(企画財政課長)

城北小はグラウンドとてるさとの間に畑のスペースはあったが、竣工までに間に合わなかったかと思う。来年度はできると思う。アフタースクールは好評で、城北小だけでなく他の学校へ伝播していくと思うが、やってくれる人と飽きられない中身が必要。

(委員長)

伝統産業とアフタースクールをつなげたり、農業などで伝統野菜作り体験するとやってみようかなと思う子も出てくるし、地域の産業につなげられる講座など、後継者の育成のためにもなるのでは。それでは続いて基本目標4についてお願いします。

※事務局から説明

◎基本目標4について意見交換

(委員)

誰もが活躍できる場作りのところで、廃校の利活用で学校に行けない子が行けるフリースクールがあれば良いと思う。子どもが学校に行けないと、親も仕事に行けないので。

(委員)

長野市の例で恐縮ですが、信州大学教育学部と長野市教育委員会が連携して七二会の廃校になった分校を改修して、昨年度 SaSaLAND という教育支援施設をオープンした。不登校の子を受け入れたり、先生たちの研修をしたり、保護者の相談もそこでやっている。そこに行けば出席扱いになるので行きやすいし、畑をやったりマインクラフトで街づくりをシュミレーションしたりとやっているのでは是非見ていただけたら。

(委員)

障がい者の方のスポーツ推進もぜひ力をいれていただけたらと思う。ジムに行ったり運動するためには長野市のサンアップルに行かなければならない。気軽に市内で楽しめる施設や理解

が障がい者スポーツにも広がれば良い。スポーツ教室やイベント開催というところにぜひ障がい者スポーツも入れていただきたい。

(企画財政課長)

地域間交流としてでは、大阪市障がい者スキー大会を飯山市でやっています。市でも市民の皆さんに理解してもらったりという部分は大切だと理解しています。

(委員)

今ある施設の活用で、市で美術館を持っているのは割とすごいことだと聞く。大きい公民館もあるし、ふるさと館もある。冬行く場が少ないことから、冬こそ勝負だ、とあのあたりの施設が勝負をかけたら良いんじゃないか。いつも細かい企画をされて楽しんで参加させてもらってる。

(委員)

飯山市の公式 SNS に農業に特化したものを配信してもらいたい。じっくり見ると広く浅くという感じなので。定住したい人の PR とかにも。

(企画財政課)

例えばどういうものになりますか。

(委員)

今どんな作業をしているか、どんなものを作っているかとか。農業を知らない人向けに、畑を耕して、種をまいて、苗を植えてという。きっかけになれば良いとう。

(委員)

季節季節の、今はこれですよ、この時期に植えてください、肥料をやってくださいというもの。

(企画財政課)

土にふれる皆さんのために、専門的な農業ではなくて

(委員)

どちらもです。前回の会議で観光と農業だという意見があって、観光は PR に力を入れているので農業もあれば。

(委員)

民間だと SNS 専任で職員を置いたりするんですが、飯山市ではそういう方はいますか。前より空き家情報とかを見る機会がなくなってきた。ぱくぱく上野とか。良いなと思ったものがやらなくなってきた。世の中が SNS に力を入れているので。専任の方はいらっやらないんだろうなと。

(企画財政課長)

委員のお見込みのとおりです。専属ではなく、昔はたくさんやってたけど、というのも人事異動の弊害ある。

(委員)

以前、移住希望者の方が民宿に泊まって農業体験をやっていたと思うが、今はやっていないのですか。

(企画財政課)

以前私が担当で JAさんと一緒にやっていて、その後やめたと思うが、おそらく現場の負担が大きく、指導者である民宿の方も修学旅行等の受け入れで忙しく、個人的な農業体験の需要はあると思うが受け入れができなくなったと思う。

(委員)

それでは基本目標5についてお願いします。

※事務局から説明

◎基本目標5について意見交換

(委員)

雪かき支援はやってもらえるご家庭の条件はありますよね。

(企画財政課)

年齢としては 65 歳以上、自分で雪下ろしができない世帯として、障害をもっている方、母子家庭等で家がつぶれないため、落ちた雪で家が壊れないための支援、実際やってもらっているのが建設業協会の方とシルバー、個人で請け負っていただいている方。

(委員)

ぜひ、子育て世代も対象にしてほしい。父親は仕事に行ってしまう。母と子だけで家の中で雪が降り積もる中、助けてくれる人がいないと雪国で住むのは厳しいなと思ってしまう。必要なサービスかなと。雪下ろしというよりは、日中の雪の処理というか。若い体を動かしたい人とか、お金を稼ぎたい人との、そこに市の負担もあれば良いけど、マッチングみたいなのがあれば良いなと思う。

(企画財政課長)

65 歳以上の玄関先除雪は区長が窓口となり、ご近所の方をお願いしている。

(委員)

ぜひそこに仲間に入れてほしい。

(企画財政課長)

玄関先除雪の目的は、玄関から出るための必要な幅だけ最低限の除雪というもので、費用負担もあるもの。

(委員)

なかなかシビアで、ボランティアでやるよって方もいるし、金銭が発生した方が責任をもってやるということもあるし制度として作れば良いけれど、なかなか解決は難しい。

(委員)

個人的には、市役所としてできることと、地域住民としてできることのラインが難しいなかで、市ができる範囲マックスまで制度としてやってもらっているという認識。助けてもらっている人もたくさんいて飯山として誇るべき制度だと思っているので、他の所へ PR してもらって良いと思う。

公共交通でも相乗りとか新しい事業が始まって良いなあとと思っている。透析を受けている人はタクシーを毎回使ったりとか、公共交通機関ではカバーできない部分もあるので、そういった方の支援も盛り込んでいただけたらと思う。また、障がい担当の保健師さんが抱えている件数が多すぎるのか支援がとまってしまうことがある。多忙すぎて声かけるのが申し訳ない感じで。

(総務部長)

サービスを利用される障がい者の方が増えてきて、きめ細やかな対応を求められるので窓口の職員が大変な状況だと。そこは改善できるようにしていきたいと考えます。

(委員長)

例えば 100P の達成状況の分析について、目標値には達していないが、かなり多忙で大変だという実情をここに反映はしなくてもいいと思うが、できたことを書いていかないと、この書き方だとあまりにネガティブかなと思う。何もできていないわけではないので。他に基本目標5についてご意見ありますか。

(総務部長)

第6次総合計画を策定する際に飯山市の課題にすらなっていないくて、今飯山市を揺るがす課題が一つあります。熊対策です。飯山市で行っている熊対策それぞれ御存知の範囲でどうお考えですか。あんまり関心がないでも良いですし、知らなかったでも良いですし、怖くて怖くていろいろな対策をしているとかでも良いですし、熊対策について何かあればお話を伺いたい。

(委員)

移住者ですが、熊怖いです。寺巡りや長峰のアスレチックに行きたいが熊がいそうで行けていないです。

(委員)

熊鈴って子どもはつけていますけど、どのくらい効果あるのかなって。

(総務部長)

鈴は効果あります。熊も慣れるとか根拠のない主張をされるのが困るというの也有ります。鈴は効果があるので付けてもらっています。絶対来ないというわけではなく、気づかせて近寄せないという効果。

(委員)

実際あった時の対策や教育が子どもたちにもあった方がいと思う。大声だしたり逃げたりはよくないと聞く。

(総務部長)

学校では寄せないよという教育かと。実際に会ったらとにかくゆっくり後ずさりする。それでも見つかったら首を抑えて丸くなって過ぎ去るまで待つしかない。市報とかでも出してはいるが伝わらない。家から学校まで送迎するのが一番安心だが、そこまで行政ができないので鈴をつけたりという対応になる。子どもにも対応を教えていると思いますが教育長にも話をしておきます。

(委員)

動物園とかで猛獣が逃げた訓練をしているので、そういうものを子供たちだけでなく地域の防災訓練等でやってみようとか。

(委員)

この間、新聞にでていましたよね、飯山市で熊対策の猟銃の。

(総務部長)

長峰の体育館の脇で緊急銃猟といって、熊が出たとき緊急で撃ち殺すための訓練を国の主催で行った。飯山市では今は熊がいたら撃てです。

(委員)

小学校へはスクールバスで行っているが、バス停まで人がいない怖い道を歩かないといけない。車だとたった3分の距離だけど車で送迎している。登校時に爆竹ならすと歩いて行けるかなとか、登校時だけサイレンならしてパトロールしてくれたりとか、良いなと思う。山で要所要所でならす鐘のようなものも設置していただけたら。

(委員)

消防の鐘なら各地にありますね。

(委員長)

駆け足で進んだ部分もありますし資料も膨大ですので、思いついたことがありましたら事務局までいただければと思います。

(委員)

最後に、泊るホテルもないが、住めるアパートもない。東京から来たいという方がいるが単身で入れるところがない。市営住宅も空いていると思う。諸事情を考えずに言うと、空いているなら住んでもらえば良いじゃないと思う。

(企画財政課長)

市では若者に対する住宅は少しずつ整備している。一番は市で作るより民間でやってもらうのが良い。

(委員長)

まだまだ色々なご提案があると思いますが、時間オーバーしてしまい申し訳ありませんでした。進行をお戻しします。

5 その他(進行:企画財政課長)

資料4について事務局で説明

→質問・意見等なし

6 閉 会